

人権学習プログラム 「心情と寄り添う」

【学習資料】

おばあさんの五つの表情



【学習のポイント】

- 人の表情から、日頃の言葉かけを手掛かりに、私たちは心情と寄り添うことができるのか考える。
- 人と人が思いやり、気づかい合いながら生きるために、みんなで語り合い共通理解と役割を考える。

【すすめ方（55分）】

| 流れ | 分 | 主な活動 | 主な発問 | 留意点 |
|----|----|--|--|---|
| 導入 | 15 | 1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。 ・話合いのルール確認 | ■本研修会のねらいや進め方について説明する。 ・参加型学習の説明 | ◆参加者同士の学びの場であることを説明する。 |
| | 5 | 10 2 アイスブレイキング ～自分自身を見つめよう～ ①自分の〇〇なところ、 チョット好きかも ②自分の〇〇なところ、 チョット嫌だな ③人生やり直せるなら、 何歳頃に戻り〇〇したい ④生まれ変われるなら、 〇〇のようになってみたい | ■自分自身を見つめてみましょう。 ①自尊感情 ②自己変革 ③挑戦 ④願望 ■グループになって、①～④の設問のどれか一つについて仲間に打ち明けましょう。 | ◆「参加・尊重・守秘」を貼っておく。 グループ分け ◆4～5人程度のグループをつくる。 ◆グループで話し合う。 |

| | | | | |
|------|----|---|--|---|
| 展開 1 | 10 | 1. おばあさんの表情から出来事や状況を想像する | | |
| | 5 | 1 紙に貼られたおばあさんの表情から、どんな出来事があったか想像し、ピンクの付箋に書く。 | ■ <u>個人作業</u> です。おばあさんがこんな顔をしていたら、どんな状況や出来事あったと思いますか。想像して付箋に書きましょう。 | ←付箋を一人5枚程度配る(ピンク)。 ◆出来事を簡潔に書く。 ◆付箋が貼られにくい場所もある。 |
| | 5 | 2 想像した出来事を話しながら順番に付箋を貼っていく。 | ■ <u>グループ</u> で順番に説明をしながら、顔の横の上側に付箋を貼っていきましょう。 | |
| 展開 2 | 15 | 2. では、その人にどんな言葉かけをするかを考える | | |
| | 5 | 1 あなたならおばあさんにどんな「言葉かけ」をするのか、イエローの付箋に書く。 | ■ <u>個人作業</u> です。ピンクの付箋に書かれた場面の時、あなたならおばあさんにどんな「言葉かけ」をしますか。イエローの付箋に書きましょう。 | ←付箋を5枚ずつ配る(イエロー)。 ◆日頃言っている言葉で書く。 |
| | 5 | 2 言葉かけの説明をしながら付箋を貼っていく。 | ■ <u>グループ</u> で順番に「出来事」のピンク付箋の下に、イエローの「言葉かけ」の付箋を貼りましょう。 | ◆同じ所に重なる場合もある。 |
| | 5 | 3 「言葉かけ」の欄から、おばあさんに寄り添っていると思える言葉を選ぶ。 | ■ <u>グループ</u> で、貼られた付箋の中から、おばあさんに寄り添っているなど思える言葉を選び、○をしましょう。 | ◆みんなで相談する。一つもない場合もある。 |
| 展開 3 | 10 | 3. 寄り添うために「とっておきの言葉」を考える | | |
| | 5 | 1 これまでの活動を参考にグループで話し合い、おばあさんに寄り添う「 とっておきの言葉 」を考える。 | ■ <u>グループ</u> で、これまでの活動を参考に、おばあさんに寄り添いおばあさんが「 自分は大切にされている 」と感じられる「 とっておきの言葉 」を考えて書きましょう。 | ◆とっておきの言葉は模造紙下の欄に書く。 |
| | 5 | 2 その場で順番に発表する。 | ■各グループより、その場で発表していただきます。 | ◆全員に共有する目的。理由はいろいろ。 |

